

主要製品売上高

(単位 百万円)

品目名 有効成分・剤形	薬効分類	平成22年3月期		平成23年3月期	
		第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
医療用医薬品		49,730 (2.3)	97,049 (2.7)	49,710 (0.0)	98,871 (1.9)
クラビット点眼液	合成抗菌点眼剤	6,639	12,240	6,712	12,702
レボフロキサシン点眼液		(5.3)	(1.6)	(1.1)	(3.8)
タリピッド点眼液	合成抗菌点眼剤	1,441	2,423	1,333	2,456
オフロキサシン点眼液		(0.7)	(2.6)	(7.5)	(1.3)
タブロス点眼液	緑内障治療剤	1,984	4,687	4,082	8,254
タフルプロスト点眼液		-	(342.8)	(105.7)	(76.1)
チモプートル点眼液	緑内障治療剤	1,513	2,832	1,010	2,045
チモロールマレイン酸塩点眼液		(13.1)	(11.9)	(33.2)	(27.8)
チモプートルXE点眼液	緑内障治療剤	1,788	3,475	1,345	2,724
チモロールマレイン酸塩持続性点眼液		(1.9)	(0.0)	(24.7)	(21.6)
デタントール点眼液	緑内障治療剤	1,127	2,168	1,114	2,255
ブナゾシン塩酸塩点眼液		(4.6)	(5.1)	(1.2)	(4.0)
レスキュラ点眼液	緑内障治療剤	1,981	3,669	1,505	3,049
イソプロピル ウノプロストン点眼液		(14.2)	(16.3)	(24.0)	(16.9)
リボスチン点眼液	抗アレルギー 点眼剤	1,272	3,229	1,350	3,287
レボカバスチン塩酸塩点眼液		(8.5)	(24.9)	(6.2)	(1.8)
ヒアレイン点眼液	角膜疾患治療剤	10,978	21,219	10,506	20,717
ヒアルロン酸ナトリウム点眼液		(4.2)	(5.9)	(4.3)	(2.4)
フルメロン点眼液	抗炎症点眼剤	2,307	4,432	2,169	4,345
フルオロメロン点眼液		(0.2)	(5.1)	(6.0)	(2.0)
カリーユニ点眼液	初期老人性	1,933	3,728	1,936	3,784
ピレノキシン点眼液	白内障治療剤	(4.4)	(4.4)	(0.1)	(1.5)
オバガンハイ眼粘弾剤	眼科手術補助剤	1,767	3,431	1,617	3,154
ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助剤		(8.1)	(6.0)	(8.5)	(8.1)
リマチル錠	抗リウマチ剤	2,281	4,352	2,023	3,971
ブシラミン錠		(2.5)	(4.1)	(11.3)	(8.8)
アザルフィジンEN錠	抗リウマチ剤	2,182	4,216	2,023	4,041
サラソスルファピリジン腸溶錠		(1.5)	(0.7)	(7.3)	(4.2)
一般用医薬品		2,792 (2.6)	5,251 (0.5)	2,803 (0.4)	5,259 (0.1)

下段：対前期伸長率(%)

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

医薬品開発状況一覧表 (臨床段階)

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社 / 導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
レボフロキサシン(1.5%)	DE-108	外眼部感染症	第一三共	日本	2010年2月					
ニューキノロン系抗菌薬の高濃度製剤。										
タフルプロスト	DE-085	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同	日本	2008年12月					
				欧州	2008年6月					
				米国	(導出)					
				アジア	2010年3月					
プロスタグランジン系緑内障・高眼圧症治療剤。2008年12月、国内での販売開始。欧州では、ドイツ、デンマーク等で販売中。2009年4月米国の開発権をメルク社に許諾。アジアでは香港にて2010年3月、次いで韓国にて2010年5月発売。中国にてフェーズ3実施中。										
ジクアホソルナトリウム	DE-089	ドライアイ	インスパイア社	日本	2010年4月					
				アジア						
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬と異なる作用機序を持つ。2010年4月、日本にて製造販売承認を取得。中国にてフェーズ3実施中。										
塩酸ロメリジン	DE-090	緑内障	シェリング・プラウ社	日本						
視野欠損の進行抑制作用を有する新しい緑内障治療剤。カルシウム拮抗作用に基づく経口緑内障薬としては、唯一の開発薬剤。NMDA受容体拮抗剤と異なり、全身性の副作用が軽微であり、高い安全性を有する。シェリング・プラウ社により片頭痛治療剤として販売中。										
リボグリタゾン	DE-101	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	第一三共	米国	(フェーズ1/2)					
				日本						
主にドライアイに伴う角結膜上皮障害に対する改善効果を期待。現在発売および開発中の薬剤と異なる作用機序を有し、角結膜上皮細胞に直接働きかける点眼薬。										
未定	DE-102	糖尿病黄斑浮腫	オークウッド社と共同	日本	(フェーズ1/2)					
ドラッグデリバリーシステム概念を取り入れたステロイドマイクロスフェア製剤。研究段階では眼局所への投与により長く安定した薬効持続性を確認。商業用スケールでの製造技術開発で米国オークウッド社と提携。										
未定	DE-104	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同	米国	(フェーズ1/2)					
				日本						
宇部興産との共同研究で見出したROCK阻害活性を有する緑内障・高眼圧症治療剤で、既存の薬剤と異なる作用機序を持つ。線維柱帯細胞に直接作用し房水流出を促進すると考えられ、強力な眼圧下降作用を期待。										
未定	DE-105	遷延性角膜上皮欠損	自社	米国						
				日本						
既存療法では難治性の遷延性角膜上皮欠損に対し、角膜上皮細胞進展促進作用により、角膜上皮欠損を修復する効果と高い安全性を期待。										
シロリムス	DE-109	滲出型加齢黄斑変性 糖尿病黄斑浮腫	マキュサイト社	日本	(フェーズ1/2)					
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する結膜下注射および硝子体内注射剤。日本を含むアジアでの眼科疾患を対象とした開発および販売実施権をマキュサイト社より取得。										

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

医薬品開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-110	アレルギー性結膜炎	自社	米国						

非ステロイド骨格を有する新規抗アレルギー剤。選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)。

一般名	製品名/コード 番号	効能・効果	自社/導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-098 (抗APO抗体)	関節リウマチ	セントコア社	欧州	(フェーズ1/2)					
				日本	(フェーズ1/2)					

RA患者の罹病関節内でアポトーシスを誘導する関節注入剤。セントコア社から抗APO-1抗体の国内外での開発販売権を導入。実生産規模での原薬製造工程を確立。日本および欧州にて治験実施中。

2009年度第3四半期発表時(2010年2月2日)からの変更点

コード番号	効能・効果	開発ステージ	実施地域
DE-108	外眼部感染症	製造販売承認 申請	日本

コード番号	効能・効果	開発ステージ	実施地域
DE-085	緑内障・高眼圧症	発売	香港・韓国

コード番号	効能・効果	開発ステージ	実施地域
DE-089	ドライアイ	製造販売承認 取得	日本

コード番号	効能・効果	開発ステージ	実施地域
DE-101	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	フェーズ1/2	米国

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。

設備投資

(単位 百万円)

	平成22年3月期		平成23年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
設 備 投 資 額	376	1,228	1,610	2,790

減価償却費

(単位 百万円)

	平成22年3月期		平成23年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
総 額	1,586	3,202	1,450	3,060
製 造 経 費	822	1,701	750	1,600
販 売 管 理 費	294	556	310	640
研 究 開 発 費	470	945	390	820

(注) 長期前払費用の償却費は除いています。

リース料

(単位 百万円)

	平成22年3月期		平成23年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
総 額	334	527	100	190
製 造 経 費	287	437	80	160

研究開発費

(単位 百万円)

	平成22年3月期		平成23年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計予想	通期予想
研 究 開 発 費	6,922	14,123	6,800	14,100
対 売 上 高 比	11.7%	12.8%	12.5%	13.0%

上記の予想等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。